

3 指導業務

年内外の木材加工業、住宅関連企業、建築設計事務所等を対象に、各研究部が行った技術相談、指導及び依頼試験の実績は次のとおりである。

3-1 技術相談頼及び指導

(1) 件数

年 度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	累計
材料開発部	31	83	126	74	38	74	426
木材加工部	62	218	224	189	183	141	1,017
構法開発部	134	229	355	378	353	287	1,736
企画管理課	—	—	40	27	33	48	148
計	227	530	745	668	607	550	3,327件

(2) 依頼者内訳数

	企 業	行政機関	個人等	計
材料開発部	58	11	5	74
木材加工部	114	13	14	141
構法開発部	182	100	5	287
企画管理課	38	6	4	48
H18 計	392	130	28	550
H17 計	415	185	7	607
H16 計	481	160	27	668
H15 計	548	178	19	745
H14 計	402	111	17	530
H13 計	173	43	11	227
13~18 累計	2,411	807	109	3,327件

(森林組合等団体は企業に、大学等教育機関は行政機関に含む)

※企業（団体を含む）からの相談が約 73 %

(3) 主な試験及び相談・指導内容

平		内 容
成	材料開発部	・スギ柱材の乾燥技術・オガクズの炭化・木材乾燥排出液の酸性度・スギの横圧縮強さ ・フィルム型アリ返しについて 等
18	木材加工部	・木質トレイの製造方法・スギ集成材の強度性能・スギ木製防護柵の強度性能 ・スギの海外輸出について 等
年		
度	構法開発部	・韓国向けプレカット材輸出・畜舎向けの木材仕様・木造の耐震補強法・韓国とのスギ木造の取り組み ・中国への輸出用木材について 等

3-2 依頼試験

(1) 依頼試験実績

(件、円)

年 度	13	14	15	16	17	18	計
依頼件数	125	141	171	81	50	79	647
金 額	1,572,860	1,392,610	1,833,485	736,450	632,755	679,680	6,847,840

(2) 試験内訳件数

(件)

試験内容/年度	13	14	15	16	17	18	計
短柱圧縮試験	2		1	4	10		17
床せん断試験	14	7					21
壁せん断試験	14	6	26	1	8	10	65
実大振動試験		1		4		9	14
曲げ試験	39	20	23	14	9		105
引張試験	9		5	3	2	1	20
長柱圧縮試験		2	4				6
熱伝導率測定試験			1	7		7	15
小試験体強度試験		56	42	14	8	28	148
耐候性試験	22	5	7				34
接着試験	12	11	7	3			33
含水率試験	6	18	27	5	3	4	63
乾燥試験(蒸気式)			1				1
収縮膨張試験		2	2	1			5
家具耐久性試験		4	4	4			12
材質試験(低倍率)			3				3
材質試験(グレーディング)			1				1
材質試験(組織観察)			4	1	1	4	10
吸音率測定試験				1	1	4	6
化学試験(可視紫外線試験)		1			3	4	8
動的ヤング係数測定試験	1	3	6	19	1	6	36
摩 耗 試 験			2				2
そ の 他 の 試 験					2		2
成績書の副本	6	5	5		2	2	20
合 計	125	141	171	81	50	79	647

(注) 曲げ試験には、小試験体強度試験を含む。

(3) 県内、県外別の試験内訳件数

(件)

年 度	13	14	15	16	17	18	計
県 内	109	111	130	40	31	52	473
県 外	16	30	41	41	19	27	174
計	125	141	171	81	50	79	647

3-3 研究会等の開催

3-3-1 「スギシンポジウム2007」の開催

木造住宅は木材という再生可能な資源によっているばかりではなく、森林資源の持続性、国土に深く関わっている。国産材利用の太宗である木造住宅は国際的資源、経済活動の中にもいる。その中で山から住まい手までの相互理解による「地球循環型」「生産地と住まい手との顔の見える関係」は連携を基盤としている。

スギを再考し、山元のスギと住まいをどのようにつなげていくか、ともに考えることを目的に開催した。

1	テーマ 「スギを再考する」
2	期 日 平成19年2月13日（火） 13:30～17:00
3	基調講演 演題「国産材時代の到来？－スギを使い切る－」 講師：秋田県立大学 木材高度加工研究所 教授 飯島 泰男 氏
4	特別講演 演題「「き」組の家づくり－国産材・杉の家づくりの試み－」 講師：株式会社 松井郁夫建築設計事務所 代表取締役 松井 郁夫氏 演題「家づくりに、山の想いを込めて」 講師：柴 設計 代表 柴 睦巳氏 演題「スギは強い？弱い」 講師 宮崎県木材利用技術センター木材加工部副部長 荒武 志朗氏
5	総 括 宮崎県木材利用技術センター所長 有馬孝禮
6	参加者 約180名
7	現地見学会 2月14日（水） (1) 日向市駅舎 幅18m、長さ110mの大屋根梁、キャノピー、内装にスギ材を使用している。 平成18年12月17日に高架切替式が行われた。 (2) (株)大三商行サンテック事業部 スギ曲がり材を活用してLVLを製造、販売している。 平成9年7月操業開始。

3-3-2 木材加工技術懇談会の開催

木材の需要拡大に繋がる研究開発をより推進するため、製材・加工・住宅関連企業等の需要ニーズを的確に把握することを目的として、関係者を招き、センターに対する意見、要望等を聴取する加工技術懇談会を県内2ブロックで開催した。

会議名	期日	開催場所	参加団体数	参加者数
第1回 木材加工技術懇談会	12/5	国民宿舎 ホテル高千穂	団体 : 7 企業 : 5 行政機関 : 1	21名
第2回 木材加工技術懇談会	2/27	木材利用技術センター 大会議室	団体 : 8 企業 : 4 行政機関 : 1	22名

3-3-3 木材利用研究会の開催

木材利用全般に関連する企業の研究者、関係者による勉強会を開催した。

1 開催期日 平成18年12月14日
2 開催場所 宮崎県木材利用技術センター大会議室
3 講演の内容 演題「木質材料とBL部品」 講師：財団法人ベターリビング 岡部 実氏 演題「木と森の快適さの評価」 講師：独立行政法人森林総合研究所 恒次 祐子氏
4 参加者数 30名

3-3-4 研究成果報告会

センターで取り組んでいる研究内容、成果を関係企業、団体、行政等に対し、報告会を開催した。

- 1 開催日 平成19年3月9日(金)
- 2 場所 宮崎県木材利用技術センター大会議室
- 3 参加者 約75名

(発表内容)

	テ ー マ	発 表 者	
	【材料開発部】		
1	木材乾燥工程から得られるスギ精油の防蟻処理剤への応用	主任研究員	落合 克紀
2	スギ精油のゴキブリ忌避効果	部 長	藤本 英人
3	スギ、ベイスギ素材の屋外杭の耐蟻性比較	主任技師	岩崎 新二
4	高温低湿処理したスギ心持ち柱材の中温乾燥	特別研究員兼副部長	小田 久人
休 憩 <5分>			
	【木材加工部】		
1	側面定規挽きしたスギ板材の強度性能	主任研究員	森田 秀樹
2	県産スギラミナを用いた新構成構造用集成材のめり込み性能	主任技師	松元 明弘
3	県産スギラミナを用いた新構成構造用集成材のせん断性能	部 長	藤元 嘉安
4	スギ構造材柱脚柱頭接合部のめり込みクリープ－乾燥方法と接合条件の影響－	副 部 長	荒武 志朗
休 憩 <5分>			
	【構法開発部】		
1	歴史的な木造施設から学ぶ地域材の活用	副 部 長	北田 孝二
2	宮崎県産スギを用いた継ぎ手接合梁材の曲げ性能	主任技師	上杉 基
3	丸棒シャフトを用いた軽軟スギ材の接手接合部性能	主任技師	椎葉 淳
4	PM手法による集成材構造の成功事例	部 長	飯村 豊

3 - 4 講 師 派 遣

3 - 4 講師派遣

派遣職員	期 日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
有馬孝禮	2006.4.28	林野庁新採用研修	これからの木材産業	林野庁 森林技術総合研 究所
有馬孝禮	2006.6.12	木青連磐城大会	資源循環型社会にお ける木材利用	木青連
有馬孝禮 小田久人	2006.6.27	都城地区木青会例会 (勉強会)	木材の乾燥とその基 本となる木材特性	都城地区木青会
有馬孝禮	2006.9.29	木造建築研修会	木材利用と木造建築 物	足利工業大学
有馬孝禮	2006.10.26	鹿児島県林業経営者協 議会研修会	国産材の利用	鹿児島県林業経 営者協議会
有馬孝禮	2006.11.2	京都大学生存圏研究所 シンポジウム	国産材・木造住宅を 考える	京都大学生存圏 研究所
有馬孝禮	2006.11.17	高専デザインコンペ	なぜ、今スギか	都城高専
有馬孝禮	2006.12.9	福岡木青連研修会	なぜ、今木材か	福岡木青連九州
有馬孝禮	2007.1.25.	地球温暖化防止に向け て	資源持続性そして居 住環境	森林アカデミー
藤本英人	2007.1.20	人材育成カリキュラム	バイオマスの徹底利 用	(社) 霧島工業クラブ
藤本英人	2007.2.24	高専等を活用した中小 企業人材育成支援事業	バイオマスの徹底利 活用	(社) 霧島工業クラブ
小田久人	2006.11.7	乾燥材生産技術者養成 研修会	スギ心持ち柱材の高 温乾燥	県木連
藤元嘉安	2006.6.5	交付金プロジェクト WG会議	オビスギを用いた新 構成の集成材の製造 と強度性能評価	森林総合研究所

3 - 4 講師派遣 (つづき)

派遣職員	期 日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
藤元嘉安	2006.11.10	県産材販売促進フェア (東京)	宮崎県産材の特徴と 利用方法	山村・木材振興 課
藤元嘉安	2006.11.16	祝吉中学校社会科見学	木材利用と地球環境 保全	祝吉中学校
藤元嘉安	2006.11.24	宮崎工業高校キャリア アップ事業	木材利用と地球環境 保全、木材の特徴と 利用方法	宮崎工業高校
藤元嘉安	2007.2.16	四家小学校木工教室	木材利用と地球環境	四家小学校
藤元嘉安	2007.2.19	交付金プロジェクト評 価会議	オビスギを用いた新 構成の集成材の製造 と強度性能評価	森林総合研究所
藤元嘉安	2007.3.7	都城地区木青会例会 (勉強会)	木材の特徴と利用方 法 (スギ材の圧密)	都城地区木青会
荒武志朗	2006.9.27	都城地区木材青壮年会 活路開拓委員会勉強会	スギの構造性能	都城地区木材青 壮年会
荒武志朗	2006.11.10	宮崎県建築士会西都支 部研修会	スギ構造材の性能と 含水率	宮崎県建築士会 西都支部
荒武志朗	2007.2.2	みやざき「おび杉セミ ナー」	スギの構造性能	宮崎県山村・木 材振興課
森田秀樹	2006.7.27	宮崎大学工学部第3回 農工連携講演会	オビスギの短所を生 かす	宮崎大学工学部
北田孝二	2006.4.22	宮崎県木材青壮年会連 合会「記念講演会」	宮崎県産スギスパン 表	宮崎県木材青壯 年会連合会
北田孝二	2007.2.2	みやざき「おび杉セミ ナー」	同 上	宮崎県山村・木 材振興課

3 - 5 取 材

3 - 5 取材

氏 名	取材日	取 材 内 容	取 材 名
有馬孝禮 飯村 豊 藤本英人	2007/1/29	人を支える木の住まい	RKB 放送
有馬孝禮	2007/2/6	おしえて！みやざき	M R T テレビ
有馬孝禮	2006/5/11	サンデーラジオ大学	M R T ラジオ
有馬孝禮	2006/6/25	報道、今、みやざき	M R T テレビ
有馬孝禮	2006/10/14	「みんなで守る森林・農地」 普及啓発	M R T テレビ
中西幸一	2007/3/9	木材利用技術センター研究報告 会	宮崎日日新聞
中西幸一	2007/2/13	スギシンポジウム 2007	林材新聞、日刊木材新 聞、ウッドミック、ザ イモク新聞
藤本英人	2007/2	オビスギ精油	MRT 教えて宮崎
藤本英人	2007/2	都城盆地のバイオマス活用	宮崎日日新聞
藤本英人	2007/3	スギ精油のゴキブリ忌避効果	読売新聞
藤本英人	2007/3	スギ精油のゴキブリ忌避効果	東京スポーツ
飯村 豊	2007/5/21	かりこぼうず大橋から WCTE2008 へー宮崎県が発信す る木材利用技術ー	橋梁新聞